

品種 えだまめ 「ちゃげ丸(滝系C8)」

えだまめ品種「ちゃげ丸(滝系C8)」は、本県中南部で8月4～5半旬収穫の中生種で、食味が特に優れる。

また、完全莢率、多粒莢率とも高く、稔実莢数も多いことから、中生品種の中では多収である。

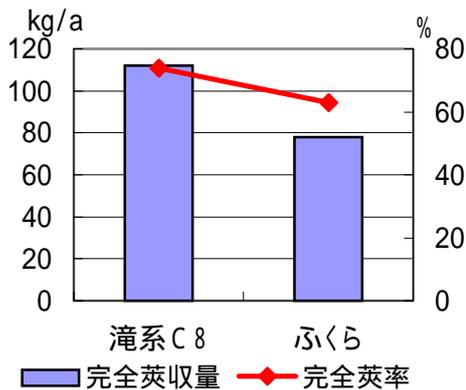


図1 完全莢収量と完全莢率

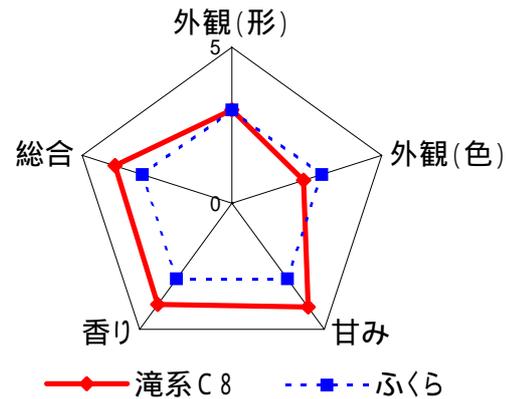


図2 官能試験

(「ふくら」を基準とし、5段階で評価)

完全莢率が高く、稔実莢数も多いことから中生品種の中では良品多収である。

甘み、香りなど独特の風味を持ち、食味が特に優れる。

但し、蒸煮後の莢色がやや淡く、時間経過に伴って莢表面が部分的に黒ずんでくる。



写真1 「ちゃげ丸」の草姿
(5月中旬播種 裸地栽培)

マルチ栽培、裸地栽培ともに可能である。

マルチ栽培の場合は蔓化・倒伏しやすいので、栽植本数を「ふくら」より少なくし、畦幅140cm(9230B マルチ使用)もしくは畦幅160cm(9224B マルチ使用)とする。